

科目名	専攻科ゼミナール Advanced Seminars	科目コード	A1030
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	電子機械システム工学専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	電子機械システム工学専攻全教員
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他30】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

電子機械システム工学分野における特定のテーマについて，指導教員のもとで研究の背景，実験法，解析法，結論の演繹的導出等を学ぶ。

○関連する科目：電子機械システム工学特別研究（同時履修）

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
①電子機械システム工学分野における特定の研究課題について，指導教員のもとで，材料学，計測・制御工学，設計・加工工学，エネルギー変換工学，電子材料工学，電子デバイス工学，情報・通信工学，環境エネルギー工学の各分野における特定のテーマについて，指導教員のもとで研究の背景，実験法，解析法，結論の演繹的導出等を身に付ける。	40%	(G1,G2)
②主として外国文献及び外国書籍を用いて解析力，評価能力，外国語読解力等を身に付ける。	40%	(G2)
③文献紹介を課することによって発表能力，論文作成能力を身に付ける。	20%	(G1)

【C. 履修上の注意】

膨大な情報量の中から，自分の研究に関係する文献を自分自身で検索し，有用かどうかの判断ができるようになって欲しい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 学習時間報告書（40%）
- 課題レポート（40%）
- 平常の取り組み（研究室での発表・解説・質疑応答）（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	課題
1	指導教員の指示に従う	
2	指導教員の指示に従う	
3	指導教員の指示に従う	
4	指導教員の指示に従う	
5	指導教員の指示に従う	
6	指導教員の指示に従う	
7	指導教員の指示に従う	
8	指導教員の指示に従う	
9	指導教員の指示に従う	
10	指導教員の指示に従う	
11	指導教員の指示に従う	
12	指導教員の指示に従う	
13	指導教員の指示に従う	
14	指導教員の指示に従う	
15	指導教員の指示に従う	